

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	0415	移住・定住促進等対策事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	移住希望者に対する支援に関する情報発信により、移住先としての花巻市のPRを強化する。					
対象	U・I・Jターナー希望者、市民					
意図	花巻市に移住者が増加している。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>1 空き家バンク事業の実施 空き家情報の発掘・発信を行い、不動産業者を活用した移住者と物件のマッチングを行う。</p> <p>2 首都圏における移住者を対象にした展示会への出展及び説明会の開催 移住関連展示会への出展や移住説明会の開催により移住先としての花巻市を直接PRする。</p> <p>3 移住・定住情報に特化したホームページによる支援情報の発信 移住・定住情報及び子育て支援情報を掲載する独自のホームページを開設する。</p> <p>4 外部専門家等による意見聴取会の開催 人口減少対策全般について、有識者等から意見を聴取するための会議を開催する。</p>						
市民参画の有無 []						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 空き家バンクPR回数	回		計画		8	
			実績		7	
② 展示会・説明会開催回数	回		計画		3	
			実績		3	
③ プロモーションイベント開催数	回		計画		5	
			実績		5	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 空き家バンク登録物件数	件		目標		40	
			実績		52	
② 移住相談件数	件		目標		50	
			実績		37	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<p>● 空き家バンク登録件数については、PR回数は少なかったが市内市外とも効果的な周知を行ったことから、移住全国誌において2015年度スタートながら空き家バンク登録件数として全国ベスト5にランキング入りするなど計画登録数を達成できた。また、空き家バンクを利用した成約も13件達成している。</p> <p>● 移住相談件数については、フェア会場において相談を受けることができたが、市の窓口にいらっしゃる相談についてはどこまでを移住相談として判断すべきか明確にできなかったことから数量把握ができなかった。そこで平成28年度は移住相談カードを作成し、小さな相談についても記録に残すこととする。</p>		
目的妥当性	<p>公共関与の妥当性</p> <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	提供する情報は、市が行う支援情報の提供が中心である他、展示会等についても自治体を対象としたものであることから、妥当である。
有効性	<p>成果の向上余地</p> <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	新規事業であるため、見込みによる成果を設定しているが、事業の中で登録の増とPR増などの見直しなどを進めることによる成果向上の余地はある。
効率性	<p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	本事業の実施に伴う臨時・非常勤職員等の新規採用に関する予算計上はしておらず、事業費についても、所要の初期経費や、展示会等で主催者から求められている負担費用等であるため、削減余地がない。
公平性	<p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	移住に関する情報は、ホームページ等を通じて、広く提供されるものであることから適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>「移住」や「シティプロモーション」の施策に関しては、県内で比較的后発となっていたが、移住者等に対する支援策の充実やシティプロモーションを活発に行ったことで、イベント参加者や県内の他自治体に対して「将来的な移住促進や首都圏の人との接点づくりを積極的に行う自治体」という印象を持たせることができた。</p>		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 総合政策部 課名 秘書政策課 担当係長 高橋 信一郎 内線 213

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0415	移住・定住促進等対策事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			6,715		6,715
財 源 内 訳	国・県		5,480		5,480
	地方債				
	その他				
	一般財源		1,235		1,235

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部重点施策における目標

- ・地域づくりへの参加を促進する。
- ・定住、交流を促進する。

事業開始の背景・経緯

- ・各種調査結果から、首都圏在住の現役世代における移住ニーズが高まっている。
- ・花巻市の人口減少推計によると、子ども、現役世代の減少が進行しており、将来的に市を支える力が弱まる懸念があることから、現役世代を取り込む対策が必要である。

事業概要

- 1 空き家バンク事業の実施
空き家情報の発掘・発信を行い、不動産業者を活用した移住者と物件のマッチングを行う。
- 2 首都圏における移住者を対象にした展示会への出展及び説明会の開催
移住関連展示会への出展や移住説明会の開催により移住先としての花巻市を直接PRする。
- 3 移住・定住情報に特化したホームページによる支援情報の発信
移住・定住情報及び子育て支援情報を掲載する独自のホームページを開設する。
- 4 外部専門家等による意見聴取会の開催
人口減少対策全般について、有識者等から意見を聴取するための会議を開催する。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・空き家バンクに登録する物件の積極的かつ効率的な発掘の取り組みが求められる。
- ・移住希望者が居住する地域における、良好な人間関係の構築と支援の取り組みが必要。
- ・ホームページで発信する情報の絞り込みと定期的な更新作業の徹底

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●空き家バンク事業(繰越明許費)

(事業概要)

- ・固定資産税義務者への案内や広報等に掘り起こした空き家情報を花巻市空き家バンクに登録し情報等を公開した。
- ・空き家バンク利用希望者は、利用登録を行い、指定した不動産業者を仲介に所有者と交渉等を行う。
- ・空き家バンク物件の掘り起こしと、市内の空き家を有効活用した移住定住を進めるため、空き家提供者に対して、移住者と成約した場合、奨励金を交付する。

(決算額) 536千円

- ・空き家活用奨励金 4件×100,000円=400,000円
- ・空き家バンク先進地視察に係る職員旅費 114,150円
- ・消耗品費 1式=4,498円
- ・空き家バンク先進地視察に係る借上料 16,598円

●首都圏における移住希望者対象の展示会出展、説明会開催(繰越明許費)

(事業概要)

- ・NPO法人ふるさと回帰支援センターへの会員登録により、同センター主催の移住者を対象とする展示会等に出展し、直接的な情報提供を行った。
- ・岩手県及び花巻市への移住希望者を対象として、首都圏で移住説明会を開催した。

(決算額) 231千円

- ・説明会等に出席に係る職員旅費 4回 一式 161,640円
- ・消耗品費 一式=19,327円
- ・NPO法人ふるさと回帰支援センター会費 一式=50,000円

●移住・定住支援情報・子育て支援情報発信ホームページ作成(繰越明許費)

- ・雇用(就業に関する支援情報等)、住宅(空き家バンク、定住促進住宅情報等)や花巻の様々な情報について、移住定住ポータルサイト「いいトコ花巻」を開設し公開した。
PV: 23,514件 アクセス: 3,794件
- ・子育て支援情報発信ホームページについては、平成28年度公開に向け、まずはこども課で作成する「子育てガイドブック」を優先させることとした。

(決算額) 918千円

- ・移住定住ポータルサイト構築 一式=918,000円

●有識者意見交換会(繰越明許費)

- ・県内で人口減少問題支援や研究に取り組み大学、県内NPO法人等や既に移住している方、若者等で構成する意見聴取会を開催し、効果的な支援策等について意見を求めた。※2回開催

(決算額) 84千円

- ・謝礼金 一式=64,000円
- ・出席に係る費用弁償 一式=20,120円

平成 27 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0415	移住・定住促進等対策事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

●移住支援相談員の配置（繰越明許費）

- ・ 市で実施している移住支援策や空き家バンクなどの情報を提供する移住支援員を配置し、情報の一元化に努めたほか、移住希望者の各種相談に対応した。
- ・ 市で公開している移住定住ポータルサイトの更新作業を行い、最新の情報を提供するよう努めた。

(決算額) 2,298千円

- ・ 移住支援相談員報酬 一式=2,008,160円
- ・ 移住支援相談員社会保険料等 一式=290,784円

(繰越明許費 計) 4,067千円

●シティプロモーション

- ・ 毎月1回（H27.10～H28.3）に花巻の「食」をコンテンツにした交流会の開催
→生産者や協力隊がPR→花巻の食と農の豊かさを体感させる。
- ・ 花巻で実際に活動しているベンチャー企業、農家の取り組み等を紹介するイベントの開催
→花巻が移住定住に関して東北では先進地域であるイメージづくり。
- ・ ㈱ココロマチが提供する移住定住に関するHP内で、毎月1回（H27.10～H28.3）開催するイベントに関連する”ヒト・モノ・コト”を紹介する。※イベント募集も連動させる。
- ・ 首都圏で開催される移住定住先進地域が開催するイベントに参加し、花巻の移住環境等をPR（交通環境・仕事環境等）
- ・ 市内において移住定住の受け入れに関するセミナー等を開催し、地域における意識の醸成。

(決算額) 2,648千円

- ・ 職員旅費 一式=250,820円
- ・ プロモーションイベント業務委託料 一式=2,397,600円